

「地域における男女共同参画に関する研修事業」
実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
下記のとおり、報告いたします。

報告日 2016年2月1日

1 施設概要

施設名	札幌市男女共同参画センター	
代表者名・職名	高橋 雅裕 ・ センター長	
住所	(〒060-0808) 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内	
	電話 (011) 728-1255	FAX (011) 728-1229
担当者名・職名	主担当 菅原 亜都子 ・ 事業係長	
	E-mail jigyuu@danियोsl-plaza.jp	
	他の担当者（主担当以外に関わる方がいる場合）と役割	
	E-mail	

2 事業の概要

事業名	情報事業に携わる人のための課題解決・実践研修 「男女共同参画センターや女性センター等における情報事業を再構築する」
趣旨、ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターや女性センター等における情報事業の現状と課題を把握し、時代と地域のニーズにあった情報事業を再構築する力をつける。 ・それぞれのセンターで実施している情報事業を棚卸し、今後の展開の方策を見出す。
対象者と定員	男女共同参画センターや女性センター等の情報事業担当者 行政の男女共同参画担当者 図書館員 男女共同参画センターの情報事業に関心のある人 等 定員：30人
実施日	2016年12月8日（木）・9日（金）

<p>プログラム概要と 実参加者数</p>	<p>1 回ごとの内容、講師、時間配分等プログラムの概要</p> <p>◆12月8日（木）13：00～17：00</p> <p>【オリエンテーション】13：00～13：10</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催者あいさつ、研修のねらいとプログラムの紹介、参加者紹介 等 <p>【講義 1】13：10～14：10</p> <p><u>「男女共同参画センター・女性センター等の情報事業の現状と課題」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターにおける情報事業の位置づけと役割、情報事業の現状と課題をテーマとした講話。 <p>講師：山崎 員世 さん（男女共同参画センター横浜北 館長）</p> <p>【ワークショップ 1】14：20～16：00</p> <p><u>「情報事業の棚卸しと情報事業のアイテムマップ作成（ワーク）」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 自センターで実施している情報アイテムの一覧を作成し、その成果を自己評価、情報事業の現時点の課題を抽出。 作成した情報アイテム一覧をもとに、情報アイテムをカテゴライズし、男女共同参画センターの情報事業全体を把握するマップを作成。 <p>ファシリテーター：山崎 員世 さん（男女共同参画センター横浜北 館長） 菅原 亜都子（札幌市男女共同参画センター）</p> <p>【講義 2】16：00～17：00</p> <p><u>「SNS の活用の現状と課題について」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Facebook、Twitter、LINE などの活用法とその成果、課題を把握。 <p>講師：高橋 雅裕（札幌市男女共同参画センター）</p> <p>【研修終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 17：10～17：30 館内案内（札幌市男女共同参画センター、札幌エルプラザ情報センター 等） 18：00～ 情報交換会 <hr/> <p>◆12月8日（金）10：00～15：00</p> <p>【講義 3】10：00～10：50</p> <p><u>「地域の社会資源活用法～北海道立女性プラザ等との連携」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の男女共同参画センターと道立女性プラザなどとの連携の事例などを紹介。 <p>講師：宮田 康宏 さん （北海道立女性プラザ指定管理者 公益財団法人北海道女性協会 事務局長）</p> <p>【講義 4】11：00～12：00</p> <p><u>「NWE C活用法」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各地の男女共同参画センターが活用できるNWE Cの情報関連サービスを紹介。 <p>講師：山崎裕子（国立女性教育会館 情報課長）</p> <p>【ワークショップ 2】13：00～13：30</p> <p><u>「情報事業マップの発表と意見交換」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 前日のワークショップ1で作成した情報事業のアイテムマップを発表、全員で意見交換を行った。 <p>ファシリテーター：山崎 員世 さん（男女共同参画センター横浜北 館長） 菅原 亜都子（札幌市男女共同参画センター）</p>
---------------------------	--

	<p>【ワークショップ3】 13：30～14：30 「情報事業の再構築（個人ワーク）」</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの講義とワークショップを踏まえ、自センターの情報事業をセンター全体の事業、地域の社会資源との連携・協働の関連から再構築し、自センターの次年度情報事業の事業計画への活用について考えた。 <p>ファシリテーター：山崎 員世 さん（男女共同参画センター横浜北 館長） 菅原 亜都子（札幌市男女共同参画センター）</p> <p>【意見交換】 14：30～15：00 「男女共同参画センターにおける今後の情報事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修受講の動機や感想、研修を受講しての気づき、今後の取り組みや抱負等を参加者一人ずつ発表 研修のまとめ <p>ファシリテーター：山崎 員世 さん（男女共同参画センター横浜北 館長） 松本 弘美（札幌市男女共同参画センター）</p>
実参加者数	<p>12月8日（木）26人（講義のみの参加、講師を含む） 12月9日（金）18人（講義のみの参加、講師を含む） （内、ワークショップ参加者11人）</p>
アンケート結果の概要	別紙のとおり
担当者所感	<p>北海道外・道内の男女共同参画センターにおける「情報事業に携わるスタッフ」に参加をいただき、情報事業の課題を洗い出し、対応の具体策を実践的に検討する場となったと評価。特に、道外や道内の参加者とワークをとおして課題解決のための具体的方法について意見交換できたことで、同様の事業に携わる全国のセンター等とのネットワークを構築する機会となったとともに、今後の展開の方策を見出す実践的な研修の機会となった。しかしながら、準備の不手際から参加者の募集が遅れ、道外の参加の機会を狭めてしまったことは反省点である。</p> <p>また、当施設内の男女共同参画担当の職員はもちろん、市民活動や環境保全の分野、管理担当職員も参加させていただいたことで、当施設内にある各分野の情報の収集と提供を行う情報センターについて、その機能を多面的に考える機会となり今後活かしていきたい。</p> <p style="text-align: right;">（札幌市男女共同参画センター 高橋 記）</p> <p>今回ワークショップのファシリテーターを担当させていただいたが、改めて男女共同参画センターにおける情報事業の意義を学ぶことができた。</p> <p>ワークショップでは、既存事業を継続するのか、あるいは縮小や廃止をするのか、さらに新規事業を本当に実施する意義があるのか、といった評価に関わる部分を丁寧に考えることができたのが有意義であった。男女共同参画センター横浜北の山崎館長から情報提供いただいた評価方法についての情報、また今回導入した「男女共同参画センターとして実施することの妥当性・必要性」／「現在の評価」の2軸から考えるマトリックス等のツールを使うことで、今後事業計画等を策定する上での具体的な手立てを知る機会となった。</p> <p>今後も、“想い”だけで企画・運営するのではなく、さまざまなツールやフレームワークを用いて、戦略的に事業運営を進めていきたい。そのためにも、全国女性会館協議会のネットワークを活用させていただくとともに、他館の参考になるような事業を実践し、情報発信に努めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">（札幌市男女共同参画センター 菅原 記）</p>